消防団多機能型車両が寄贈されました

まちの消防活動に、消防車両が贈られました

２月11日、㈶日本消防協会から本市消防団に救助資機材を装備した消防団多機能型車両が寄贈されました。

同協会は、平成19年度から消防車両や消火資機材などの寄贈を始め、今年度は、６台の車両が全国の消防団へ。本市へは、今回初めてのこととなります。

消防車両は廿日市分団に配置され、今後の消防団活動に役立てられます。

写真右から、（公財）広島県消防協会の丸山正隆（まるやま・まさたか）会長、堀野副市長、廿日市市消防団の伊藤博（いとう・ひろし）団長

写真1・2 公演終了後には、人形の動かし方の説明や舞台装置の見学が行われ、来場者は興味深そうに話を聞いていました。**写真3** 「でこ」と呼ばれる人形。**写真4** 演目の石井常右衛門（いしいつねえもん）「十手八丁五人斬りの段」の一場面。

説教源氏節人形芝居公演

優美な人形芝居 さくらぴあで公演

１月26日、さくらぴあ小ホールで原地区に伝わる伝統芸能、「眺楽座（ちょうらくざ）」による説教源氏節（せっきょうげんじぶし）人形芝居の公演が行われました。

会場は当日券も完売となる大入り。眺楽座名物でもある何枚にも重ねた襖絵（ふすまえ）を次々と左右に開いていく「八反返し（はったんがえし）」が披露されると、会場からは大きな拍手が湧きあがりました。

説教源氏節は明治時代から続き、広島県無形民俗文化財に指定。独特の語りや三味線の音に合わせて「でこ」と呼ばれる人形を扱い、演じます。現在眺楽座は原の廿日市市民俗芸能伝承館を中心に活動を続けています。

代表の藤尾昂（ふじおたかし）さんは「市外からも多くの人が見に来てくださいました。期待に応じられるよう、これからも活動を続けていきたいです」と話してくれました。

中学校女子はつかいち駅伝大会

市内外の中学生が集合、健脚を競う

第26回中学校女子はつかいち駅伝大会が２月２日に開催されました。市役所をスタート・ゴールとし、住吉堤防（昭北緑地）を往復するコース。市内外から参加校21校が健脚を競いました。

優勝は砂谷中学校。市内の学校では大野東中学校が２位と健闘。沿道には大勢の観客が集まり、選手に声援を送りました。

また、当日行われた市民ロードレースには293人が参加しました。

写真は大野東中学校のたすきリレー。選手たちは最後の力を振り絞り、仲間へとたすきをつなぎました。

大聖院節分会

無病息災を祈り、鬼は外、福は内

２月３日の節分に、宮島地域の大聖院で節分祭開運豆まきが行われました。

厄除け祈願として、毎年恒例のこの行事。大聖院の境内には、福豆を手にしようと約２千人が集まりました。宮島太鼓の勢いのある演奏のなか「鬼は外、福は内」の掛け声と共に、今年の福男・福女の皆さんは、手を伸ばす人々に豆の入った小袋や紅白もち、もみじまんじゅうを投げ入れました。

写真は福豆をまく福男・福女の皆さん。福豆にはくじが付き、家電製品などの景品が用意されました。

宮内小学校で選挙出前講座

将来の有権者が、実際の投票箱で投票体験

宮内小学校で２月12日、選挙出前講座が行われました。今回参加したのは６年生の児童27人。児童は実物の投票用紙や投票箱を使い、投票を体験しました。また、投票の前には、模擬選挙に立候補をした宮島水族館の「アルくん」などゆるキャラが登場。児童は笑顔を見せながら投票をしていました。参加した新谷来実（しんたにくるみ）さんは「将来投票に行くのにいい経験になりました」と話してくれました。

投票の体験の前には市選挙管理委員会による選挙権や選挙の成り立ちの説明があり、児童は関心に満ちた表情で話を聞いていました。

今月の**廿日の市**
問 はつかいち観光協会☎㉛5656

■ **3月20日㈭**
8時30分～10時30分

売り切れ次第終了
ところ 新宮中央公園（けん玉公園）

講座・催し

■宮島の海のプランクトンと水族館の生き物たち

宮島水族館☎㊹2010

プランクトンと水族館の生き物たちがどのように関わり、暮らしているのか顕微鏡で観察してみよう。

とき 3月30日㈰ 13時30分～15時30分
対象 小学4年生以上（小学生は保護者同伴に限る）
定員 40人（応募者多数の場合抽選）
参加料 資料代として200円（別途、水族館への入館料が必要です）
申込方法 宮島水族館公式ホームページ応募フォームから、または往復はがきに参加人数と参加者全員の氏名（ふりがな）、年齢、代表者の郵便番号、住所、代表者の氏名、年齢、電話番号、ファクスまたはメールアドレスを記入し、次へ。〒739―0534 廿日市市宮島町10―3 宮島水族館「春のプランクトン講座」参加者募集係
申込締切 3月15日㈯必着（ホームページ応募フォームからの応募は、締切日の24時まで）

■みやじま雛めぐり

宮島観光協会☎㊹2011

宮島の旧家に伝わるお雛さまを町内各所で展示します。

とき 3月21日㈷～4月3日㈭
※展示場所により開催時間が異なります
ところ 宮島町内約30カ所
※ピンクののぼりが目印です
入場料 無料

■春を呼ぶ宮島清盛まつり

宮島観光協会☎㊹2011

平安時代に、宮島の繁栄の基礎を築いた平清盛公をしのび、華やかな平家一門の厳島神社参詣行列を再現します。

とき 3月23日㈰13時～15時
ところ 宮島桟橋から厳島神社経由、清盛神社まで（稚児は厳島神社まで）
※雨天の時は、厳島神社内のみで実施

写真は昨年の宮島清盛祭りの様子

■第31回さいきアーチェリー大会

さいきアーチェリー大会実行委員会☎㉒0437

小学生、初心者から中・上級者まで各部門で競技。入賞者には表彰および副賞を贈ります。

とき 4月13日㈰9時～16時30分（雨天決行）
ところ 佐伯国際アーチェリーランド（津田500番地）
※未経験者には別途指導します
参加料 一般 3000円、大学生 2500円、小・中学生・高校生 2000円
※昼食を希望する場合は、別途昼食代が必要です
定員 フィールド部門96人、ターゲット部門100人（先着順）
※定員になり次第締め切り
申込方法 さいきアーチェリー大会実行委員会まで電話で
申込締切 3月24日㈪

■山陽女子短期大学市民講座

地域政策課☎㉚9139

災害時などの非常事態に備えて、それぞれの健康状態に合わせた保存食を日常生活の中で消費期限内に使い回し、おいしく食べられる工夫を紹介します。

とき 3月16日㈰13時～15時
ところ 中央市民センター集会室
演題 災害にそなえて～備蓄品のそなえ方～
講演者 山陽女子短期大学准教授 中東教江（なかひがしのりえ）さん 広島県栄養士会事業部長 山崎初枝（やまさきはつえ）さん
受講料 無料
申込み 山陽女子短期大学に電話またはファクスで。☎㉜0909、FAX㉜0981

■さくらぴあイベント

さくらぴあ☎⑳0111

●第16回さくらぴあ新人コンクール出場者募集
参加資格 平成26年4月1日現在、満18歳以上28歳以下で、音楽を専攻している大学生・短期大学生および同専攻を卒業または修了した人
申込期間 3月1日㈯～22日㈯
予選 録音審査により選考
本選 5月25日㈰ 13時30分開演
※詳細は問い合わせてください

●さくらぴあ市民オペラ第16回コンサート
第1部 オペラ「カルメン」抜粋版語り付き／ビゼー
第2部 交響曲第九番・第4楽章「歓喜の歌」／ベートーヴェン
とき 3月23日㈰14時開演
ところ さくらぴあ大ホール
入場料 無料（全席自由）

■篠笛（しのぶえ）のしらべ～弥生の玉手箱～

宮島歴史民俗資料館☎㊹2019

資料館の庭園をステージにした篠笛のコンサートを行います。

とき 3月30日㈰ 1回目13時30分、2回目15時
ところ 宮島歴史民俗資料館
演奏者 浜村敏彦（はまむらしひこ）さん
入館料 大人300円、高校生170円、小中学生150円

■第18回おんなとおとこの市民フォーラムinはつかいち

人権・男女共同推進課☎㉚9136

講師 駒崎弘樹（こまざきひろき）さん
とき 3月8日㈯13時30分（13時開場）～15時
ところ さくらぴあ小ホール
内容 僕らがほしい未来を手にする方法～社会を変えるパパになる～
入場料 無料
申込み 不要
※手話通訳、要約筆記あり